

脚本：桶谷 颯 / 作画監督 キャラ：鎌田祐輔 メカ：有澤 寛 /
絵コンテ：下田正美 / 演出：雄谷将仁 / 初回放送日：06/04/13

Celeblum*

*北米版タイトルは "Cerebrum"

【あらすじ】

再び消えたシズノを探すキョウの前で、時間が巻き戻るかのような異変が続く。異世界ではルーシェン達が偵察を続け、シズノは拘束されていた。中学ではメドレーリレーの仲間だったカワグチとの衝突を繰り返すキョウの「前へ進みたい」という想いが扉を開く。

シャワー室に現れたシズノは水泳部のPRビデオへの出演と引き換えにキョウに世界を救うように再度迫る。異世界に行くセレブラムの飛行母艦オケアノスでは生徒会長のシマが司令を務めていることにキョウは驚く。戦いを終えた後、シズノは約束通りPRビデオに出演するが、誰も知らないはずの彼女は有名人になっていた。

【登場人物・メカ】

●メイエン「デフテラ領域、規模を把握しました」

お団子頭のメガネっ娘。メイウーの双子の妹。

●ゼーガペイン・ガルダ

今回のルーシェンの乗機。藍色の光装甲を纏う偵察向きの芸達者な機体。

【チェックポイント】

- ミナト「舞浜サーバーのシステム環境が乱れているのよ」→時計
- シマ「新たに幻体を回収する方が話は早いということだ」
- ガルダの任務はデフテラ領域（説明は3話で）の偵察。
- シャワー室からオケアノスへ移る際のAIの台詞。
- キョウは転送の危険性が分かっていないと指摘するミナトと、キョウがそれを尋ねても答えないシズノ。
- キョウ「エンタングル！ だったよな」に応えるシズノの表情。
- エンタングルって何ですか？ →5話を見てください。
- キョウのめんどくせえパンチに驚くシマ達。
- キョウ「キス、したよな。何で」シズノ「私と君はそういう関係でしょう」
- ルーシェン「今の彼でも使えますよ、困くらいならね」の声音。
- プールサイドでのシマとミナトの会話。